

〈NGO・外務省定期協議会 議題案／質問状記入シート〉

1. **議題案名**：
 - ・2014年のUNDESD締めくくり会合に向けての日本の取り組み課題と今後のESDプログラムの展開に関して
2. **議題の背景**：NPO法人沖縄O. C. E. A. N. は1992年より沖縄の海の環境保全活動と沖縄の若い世代のリーダー育成につながる活動をしているNPO法人です。同じ目的を持つ 様々な団体と連携しながら 環境教育プログラムの提供や、ビーチクリーンの実施・指導、ビーチクリーンキャンペーンの実施などを行っています。またJICA沖縄の研修プログラム（海洋沿岸警備に関するマネージメント等）も定期的に併せて担当しております。ビーチクリーンを何度も行っても、問題の本質、社会の仕組み、行政との連携において生じている課題を解決しない限り、問題はなくなると認識しております。特に、日本の行政担当者が二年ごとに変わり、仕組みが作られても、担当者のモチベーション、創造力の欠如でまた同じことの繰り返しになり、NGO活動のモチベーション低下につながることを見てきました。行政が音頭を取って、キャンペーン、仕組みづくりの為にNGOを短期間だけ雇用し、予算を下ろす仕組みではなく、もっとNGOに予算を下ろし、行政は後方支援に回れないのかという疑問を多くの団体が抱えていると言える。
3. **議題に関わる問題点（議題に上げたい理由）**：

特に今年は2014年の終わりに、日本国でESDプログラムの締めくくり会合を行うことが予定されている。日本国としてESDを立ち上げ、締めくくりを行うと思うが、重要な課題であり、特に本年度の日本政府の同行に関してご意見をお伺いしたい。
4. **外務省への事前質問（論点を詰めるために事前に確認しておきたい事実関係など）**：
 - ・2014年、日本で開催されるUNDESD締めくくり会合に関して現時点でどのようにNGOを巻き込んでいくのか、予算配分、NGOの役割をお聞きしたい。
 - ・本会合終了後、日本政府として、今後のESDの予算、NGOとのこれまでの連携に関してどのような方針で行くのか現時点での報告をお願いしたい。
5. **議題に関わる論点（定期協議会の場で主張したいことや、外務省に確認しておきたいと現段階で考える点）**：

※外務省からの事前質問の回答によって変更することは可能です。

- 氏名：エド・ヘンドリッチ・サンチェス
- 役職：代表
- 所属団体：NPO法人 沖縄OCEAN